

10月12日、台風19号接近中 中田小学校に避難所開設

防災訓練ではありません 災害対応です

台風19号の接近にともない、10月12日正午から中田小学校に避難所が開設されました。台風では初めてといってもいいくらいでした。泉区内では中田小の他には岡津小学校など四か所だけが避難所になりました。避難所を開設するという情報は横浜市のホームページで告知され、また、10時ごろに広報車でも伝えられました。



12時30分ごろの避難所の様子です。避難所になった体育館には市役所の職員が二名、受付・案内などをしていました。すでに避難していた人は約15名。体育で使用するマットを布団にして座ったり横になっていました。

みなさん荷物を持っています。台風で避難する時は食べ物、飲み物は自分で用意していきます。この他、着替え、タオル、スリッパ、携帯電話（充電器）などがあった方が良かったと思います。体育館の渡り廊下側に出入り口が設けられたのですが、雨が降り込んで、足ふきマットもびしょりでした。校内も水たまりがあって避難する人は大変そうでした。



雨風が激しくなる中、就学前の子供の手を引いたお母さんと、その子のお爺さんが大きな荷物を持って避難してきました。避難するのはこうした災害弱者といわれる人たちです。



下村町内会から避難してきた方がいたならば、何かできることはないかと考えましたが、この時点では下村町内会から避難された方はいないようでした。

最終的には、19世帯、43人の方が避難して一夜を過ごしたということです。

また、避難所にいたのは市の職員だけで、新設された中田連合防災部、近隣の町内会関係者（地域防災拠点運営委員）の姿は見られませんでした。連合の防災部によると、前日までに泉区の総務課防災担当と避難所開設の協議を重ねたそうです。当日は自宅待機体制をとっていたということでした。